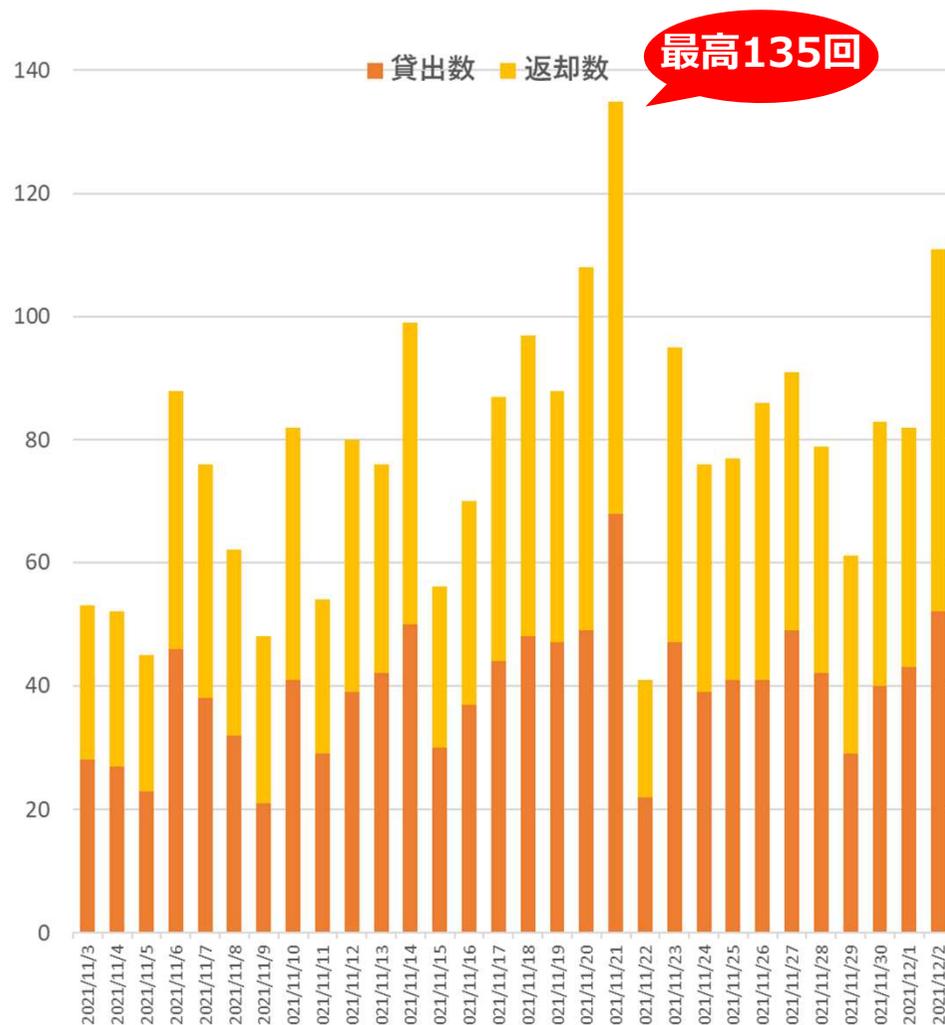


② コロナ下でのほこみちの利活用形態の検証

i) モビリティポートの利用状況

・モビリティポートの利用は、**昨年度より倍増**し、最大135回/日程度利用された（全ポート平均の約2.4倍）

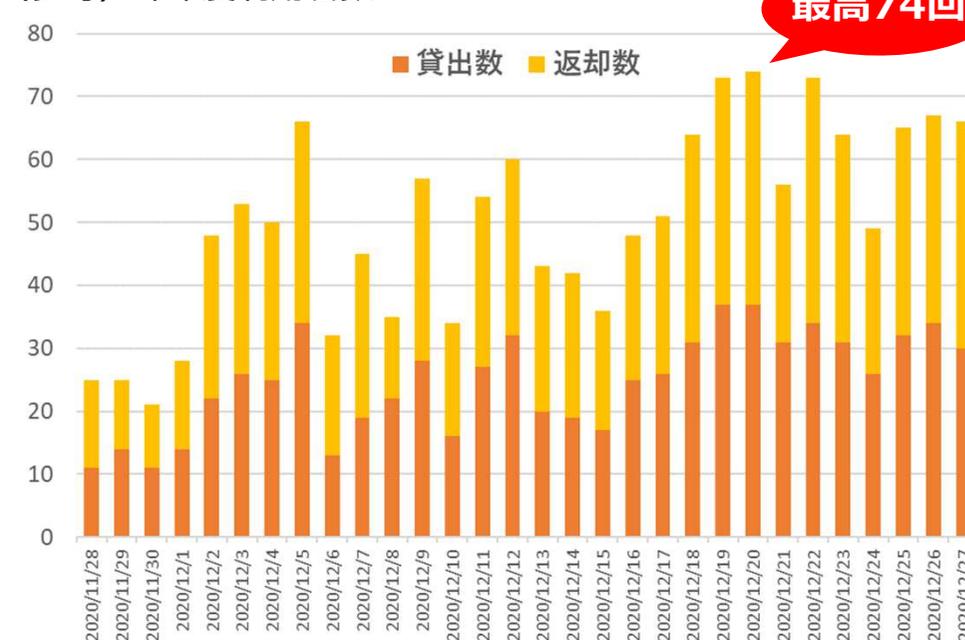
▼モビリティポートシェアサイクル利用数（R3）



▼利用上位ポート（御堂筋との組み合わせ）

貸出先 ⇒ 御堂筋	B-09.ベストウェスタン ホテルフィノ大阪心齋橋	40
	B-08.三井のリパーク西心齋橋2丁目第2	33
	P-06.ファミリーマート大正駅北店	28
	B-18.G-TERRACE心齋橋	26
御堂筋 ⇒ 返却先	B-45.ファミリーマート南久宝寺町四丁目店	24
	B-39.サンコーポユウ日本橋	24
	B-03.心齋橋PARCO	22
	E-04.ファミリーマート浪速敷津東店	22
	E-08.ローソン桜川駅前店	22
	E-23.スプランディッド難波	21

(参考) 昨年度利用者数

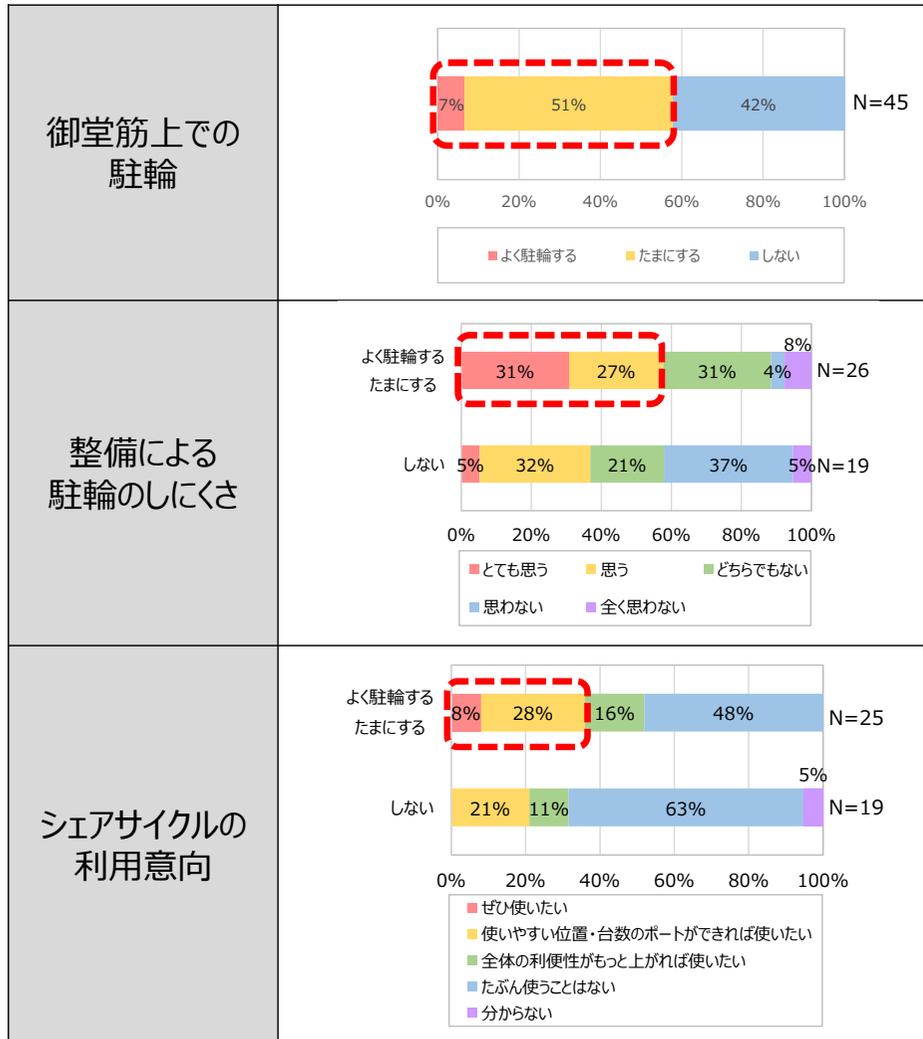


② コロナ下でのほこみちの利活用形態の検証

i) モビリティポートの利用状況

- ・アンケートでは、約3割が御堂筋でのシェアサイクルを利用したいと回答。
- ・路上駐輪を行うことがある利用者がシェアサイクルを使いたいと回答している割合が大きく、**今後の放置自転車の削減に寄与する可能性がある**と考えられる
- ・加えて、デジタル案内板による利用促進・情報案内も一定の効果があり、**モビリティポートの有効性を確認**できた

▼御堂筋上へ駐輪する自転車利用者のシェアサイクル利用意向



▼モビリティポートに設置したデジタル案内板での利用促進



- HUBchariへのスマホWEB誘導は36件。
- ・放映時間中の総貸出数850件に対して4.2%
- ・放映時間中の総貸出数、前年からの増加数357件に対して**10.1%**
- Place2B（周遊促進アプリ）へのスマホWEB誘導は57件。

↓
いずれも十分なアクセスでは無いが有効に機能する可能性を確認

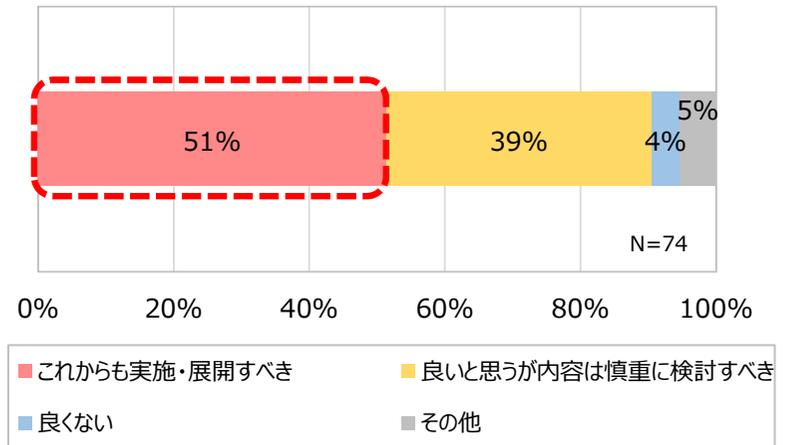
② コロナ下でのほこみちの利活用形態の検証

ii) オープンカフェの利用状況・評価

- 御堂筋及びカフェストリートでオープンカフェを実施し、**通行者からは一定の評価**が得られた
- 内容は慎重に検討すべき**との意見も多く、実際の利用は、気温の影響、設置場所の形状（アイランド型）、雰囲気などの影響もあり、十分な数とはならなかったものの、本格的な展開に向けた道路幅員構成や**利活用形態、デザイン等の課題**が見えた



▼オープンカフェの設置等による歩道空間の活用についての意見（アンケート）

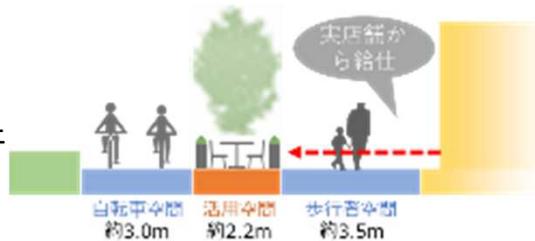


検証結果

① 道路幅員構成

自転車の通行など危なく、現状幅員構成によるアイランド利用で快適な滞在空間確保は難しい

➔利活用に適した断面構成の再検討が必要



② 利活用の形態

「この期間での判断は難しい」「アイランド空間へのサーブ等オペレーションが煩雑」との意見

➔通年ニーズ把握、地先利用などより良い形態検討が必要



③ 什器デザイン・しつらえ

今回什器は個別対応も、統一的なデザインやガイドラインもあって良いとの意見

➔景観配慮・クオリティ確保の点からデザイン基準や審査が必要



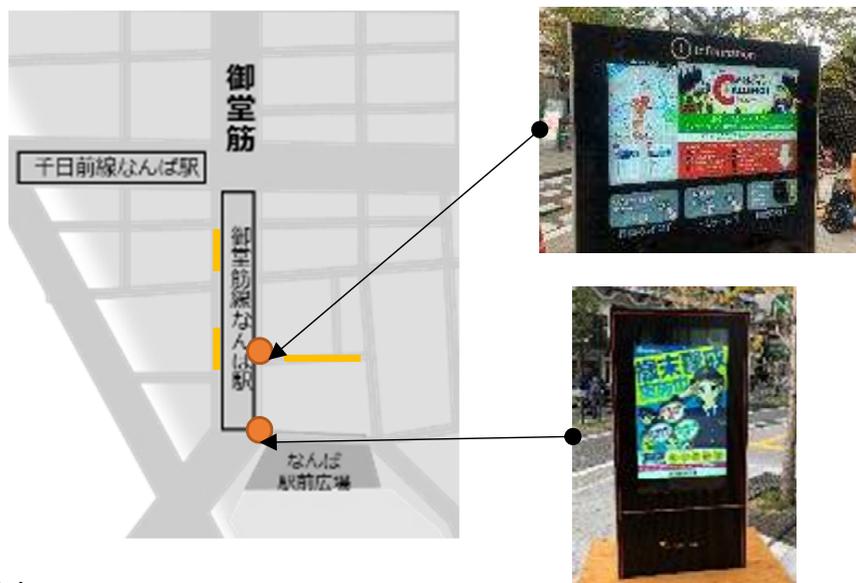
利用状況・評価

- 利用者は、休日に若干増加も全体的に少ない結果
- 特に後半は気温が低く屋外利用は厳しかった
- 参加事業者からは売り上げは厳しかったものの参加・試行したことは前向きな評価

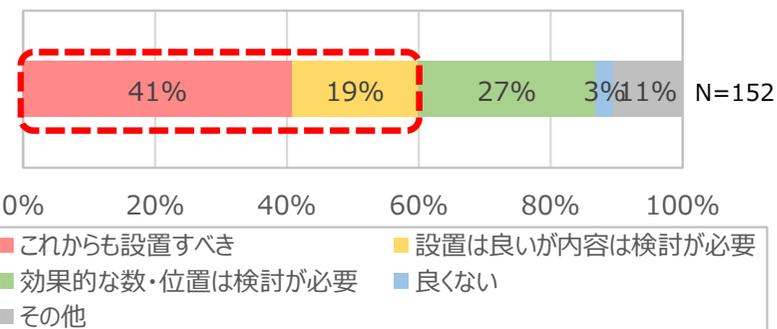
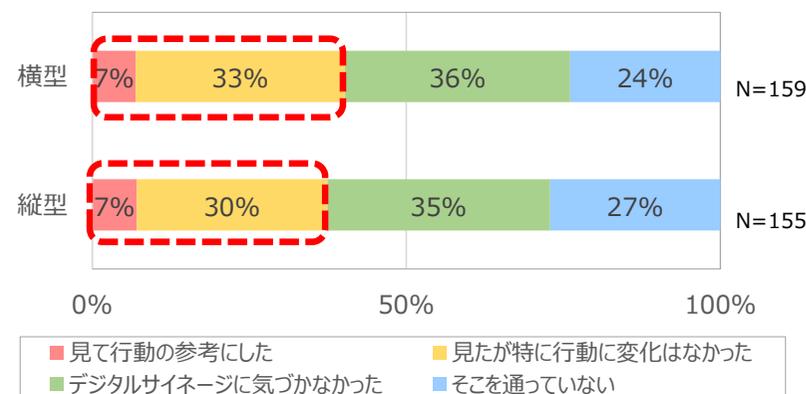
② コロナ下でのほこみちの利活用形態の検証

iii) デジタルサイネージの利用状況・評価

- デジタルサイネージは、**4割程度に認識**されており、**1割弱の通行者の行動の参考**とされている
- 引き続き設置すべきとの意見が多い**が、**広告を確保していく上で広告等にかかる景観コントロール**、その**協議プロセスなどの課題**が多く挙げられている



▼ デジタルサイネージの評価 (アンケート)



▼ 掲出コンテンツ



▼ 事業者の意見

(案内板設置者からの意見抜粋)

- 視認性高く、デザインとしてもなじんでいた。
- コロナ影響、期間も流動的だったので広告は難しかった。継続して収入を得るためには事前から媒体企画をきちんと立てる必要。

② コロナ下でのほこみちの利活用形態の検証

まとめ

検証目的	各項目の結果		今後の方向性
	観点	結果	
・コロナの日常下でほこみちでの利活用の形態を実験し、常設化へのルール等を検証する	i) モビリティポートの利用状況	・モビリティポート（シェアサイクル）はニーズが高く、 昨年度より利用が倍増 ・路上駐輪を行うことがある自転車利用者もシェアサイクルを利用したいと回答しており、 放置自転車の削減に寄与する可能性あり	⇒モビリティポートについて、放置自転車対策としての位置づけも含め、本格設置の議論を進める ⇒オープンカフェ、デジタルサイネージで沿道、交差道路とも連携した収益活動の絵姿は示せたが、前項のベンチのあり方とも合わせ、効果的な場づくり・仕組みづくりを引き続き検証
	ii) オープンカフェの利用状況・評価	・ オープンカフェの設置は評価 されたが、気温、設置場所の形状、雰囲気などの影響があり、十分な利用とならなかった ・本格展開に向けた道路幅員構成や 利活用形態、デザイン等の課題 が見えた	
	iii) デジタルサイネージの利用状況・評価	・ デジタルサイネージ は一定の確認・情報活用がされており 設置すべき との意見が多い ・ただし、広告を確保していく上で広告等にかかる 景観コントロール 、その 協議プロセス などの課題が多く見られた	